

# 届け、心の宅急便

情報は報道部 ☎045(227)0140、読者広報センター ☎045

小中学生を対象に、いじめ防止や克服を呼び掛ける朗読活動を続けている横浜市港北区在住のヒロコ・ムトーさん(64)が、県の2009年度ボランティア活動奨励賞を受賞した。全国で「心の宅急便」という名の朗読を始めて2年半。2人の娘がいじめに遭った経験などを交えながら、「いまのままのあなたがいい」と語り掛けている。

「いつか子どもたちが乗り越えることができればいい、その経験を伝えたいと思っていたんです」

30年前、帰国子女だった長女が幼稚園や小学校でいじめに遭った。次女も中学2年のとき、同級生らから無視される「シカト」に遭った。

ムトーさんは山形市で幼少時を過ごし、青学大を卒業後、結婚を機に25歳で横浜に移り住んだ。夫の転勤で4年間の米国生活から帰国すると、長女に奇異のままさが向けられた。「人はみんな違つのに、日本はどうしてみんなが同じ色

## ヒロコ・ムトーさん 県ボランティア活動奨励賞受賞

「人はいじめられたいと思わないで、何かできるのではと考えていた。転機は2006年、最愛の母が93歳で他界したことだった。翌年から「心の宅急便」を始めた。2人の娘が遭ったいじめの実体験や、自身が作詞した歌をハープの演奏を交えて語る。これまで横浜市内を中心に、全国約30の学校で思いを伝えてきた。詞で問い掛ける。「あなたに贈りたい言葉がある 世界

## 朗読講演 いじめ克服訴え



ヒロコ・ムトーさん(右下)と「心の宅急便」にかかわるメンバー

中の誰よりも あなたがいい」「声を殺して泣いたあの日が今ほうそのよう友達にならない? このあたたかい言葉を いつまでも忘れない」 講演会の申し込みは、「心児童、生徒から届いたメの宅急便」ホームページから。

ッセーは9千通を超えた。「いじめに悩む子の『頑張ります』という言葉は、もちろんうれしい。でも一番は、いじめと無関係の子が『ただ見ていただけなのは、いじめに加担しているのと同じだと気付いた』と書いてくれること」 そんな子に、勇気を出して言ってほしい。「ねえ、友達にならない?」と。

横浜市陸上競技協会は「第22回横浜市民マスタースポーツ・陸上競技大会」(4月24、25日・三ツ沢陸上競技場)の参加者を募集している。

出場資格は横浜市内在住・在勤者で、大会当日の年齢が男子35歳以上、女子30歳以上。実施種目は24日は100㍍、5000㍍、走

### 来月24、25日 参加者募集

り高跳び、砲丸投げ、25日は200㍍、1500㍍、走り幅跳び、円盤投げ。出場種目数に制限はない。参加料は1種目千円、ナンバーカード料200円

## マスタースポーツ 陸

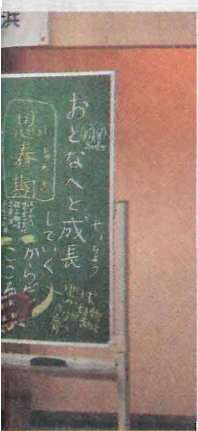
曾屋の葛葉緑地内で18日、散策路沿いに剪定枝を活用した生け垣風の「カントリ

ーハッヅ」造りが行われた。ボランティアが協力、約100㍍の長さで整備し、自然あふれる散策路に溶け込んでいた。

作業を行ったのは、市くずはの広場職員やくずはボランティアの会のメンバーら15人。冬の間は緑地内で剪定し保管していたクヌギ、コナラなどを利用、太

から3㍍近くカントリー然の樹木を使用、散策路にするほか、重ねの厚みがある小動物が隠れやすくなる。葛葉緑地は、1987

## 大切に」の教室



と訴えたと旭

拠点「ばれつと旭」で開かれた。30人が参加し、木島さんの話に聞き入っていた。NPO法人「AIDS(エ

愛の大切さを訴えた。ANNYは1993年に設立され、HIV感染者、エイズ患者の支援とエイズの知識、理解を深めるボラン

なった。市港湾局によると、明け方をめどに出港する。当初予定の18日から変更する理由について同局は「所有者側の事情」として

の自然柵を造り上げた。

がわのナシヨト第1号に指葉川沿いに広